

令和6年度

島根 教弘 会報

vol.3



「瑞風に手を振る子どもたち」



「元気な浜田幼稚園の子どもたち」 浜田幼稚園

公益財団法人 日本教育公務員弘済会島根支部
株式会社 島根教弘



思いを言葉にのせて

島根県小学校長会

会長 安達 利幸

学校行事や集会活動の際に子どもたちに語りかける「校長の話」。かつて、授業後に胸によぎった「子どもたちの理解や納得を引き出すことができたのだろうか？」という反省は、授業実践から遠のいた今も、どうやら変わることはなさそうです。

卒業証書授与式での「はなむけのことば」。学校教育目標「思いをもち、力を合わせて挑戦し続ける子どもの育成」になぞらえ、“これから出会う様々な困難に向き合い、仲間を信じてひたむきに取り組み、最善解を見い出してほしい”というエールになればと、子どもたちがある程度知っているエピソードを毎回取り上げ、卒業生に贈り続けてきました。

例えば、2022年の北京五輪カーリング女子日本チームには、快進撃を支えた要因の一つに、仲間を信じたやりとりがありました。苦戦続きの局面で、「さっちゃん、時間あるから大丈夫だよ。ゆっくり投げて!」、「大丈夫。まだ同点になっただけだから!」という吉田選手の不断の励ましと、それに応じ瞬時に気持ちを切り替えスーパーショットを連発した藤澤選手。選手一丸で挑み銀メダルを獲得した話は、コロナ禍によるマスク着用の卒業生でしたが、そのまなざしからは、力を合わせ挑戦することの大切さを感じ取ってくれたように私には映りました。

このように感動を呼ぶエピソードとなると、いきおい“スポ根もの”に話題を求めがちになりますが、2024年、大地震と豪雨が立て続けに襲った能登地方の例を挙げるまでもなく、自然災害が頻発するわが国の現状を考えた時、災害にどう向き合うかを式の中で語ることもあってよいかと考え、東日本大震災の話を取り上げたこともありました。2023年9月、福島県小学校長会のお取り計らいで東京電力福島第一原発見学・被災校校長との懇談の機会を得たことから、現地で見えて聴いて実感したことをベースに話を構成しました。わが国初の未曾有の複合災害の爪痕は今なお厳存していること、県内12市町村では震災前と比較し児童数が13%まで激減したこと、いまだ県内外に避難を余儀なくされている18歳未満の子どもが3千人を超えていること、そして何よりも、ここを終の棲家と決めた以上、風評・風化という“二つの風”に対峙し続ける必要があることなどを知り、胸をえぐられる思いの連続でした。

解散後、週末ということもあり、さらに今後の防災教育に役立てたいとの思いから独りレンタカーを借り、宮城県石巻市に向かいました。児童74名と教職員10名の尊い命が失われた大川小学校。現地までの残り数キロは、あの日大津波が瞬く間に遡上した北上川と並走する形になり、なんとも言えぬ畏怖の念を抱きました。また「ここに避難すれば助かったかもしれないのに…」と報道された学校の裏山にも実際に登りましたが、犠牲となられた方々にただただ哀悼の祈りを捧げることしかできない、苦く切ない時間でした。

次いで訪れた門脇（かどのわき）小学校では、津波火災により校舎が全焼するも、教職員の機転により多くの児童や避難してきた住民が裏山に避難し奇跡の生還を遂げたことを知りました。パネル展示の中に、「クラスの中で授業がしっかりできるっていうのは、日常の生活がきちんとしていればこそなんです。実際、東日本大震災のときすばやく整列して避難する時に大いに役立ったと思います。」という教師の手記を見つけました。「これだ!」と思い、「はなむけのことば」で、当時の卒業生が和やかに学校生活を送る中にも、有事には整然と行動できていたことなどを大いに価値付けました。なお、東北の視察で得た思いは、地震を想定した避難訓練でも毎回必ず全校の子どもたちに語ることにしています。この目で見て肌で感じたことだからこそ、伝わるものがあることは間違いないと信じながら。

さて、今年の卒業式にはどんな話をしようかと、しばらく思案する日が続きそうです。

令和7年度教育振興事業募集のお知らせ

令和7年度の事業の主な内容は次の通りです。詳細は、募集要項・HPで確認してください。

<奨学事業> (10ページをご覧ください)

<教育研究助成事業>

■ 教育実践研究論文

- 募集部門 学校部門（教育研究団体を含む）、個人部門（研究グループを含む）
学年部、学部、分掌等での応募は研究グループとする。
- 研究主題 「学校の実態を踏まえ、明日の教育を考える」という立場のものであれば、その他は自由。
- 表彰及び助成金 選考のうえ、優れた作品には助成金を贈り表彰する。

■ 研究大会助成

- 助成対象 島根県内の幼・小・中・高・特別支援学校等の教職員によって構成された教育団体等が行う学校教育の向上発展に資するもので、中国大会以上程度の研究大会等。ただし、原則として、この研究大会助成または教育研究助成事業（奨励金）の助成を受けて4年経過しないものは助成対象とならない。
- 助成内容 1件当たり5万円以上30万円以内（ただし、研究・活動総予算の1/2を上限とする）
- 募集期間 令和7年5月1日～令和7年6月20日（当日消印有効）

<教育文化事業>

■ 学校教育活動助成

- 助成対象 学校教育の今日的な課題等に取り組み、島根県の学校教育の充実・発展に寄与する活動と認められるもので、島根県全体の児童・生徒を直接対象とした活動。
- 助成内容 1件あたり原則40万円以内の助成金のほか、活動に必要な用品等（例えば、学習教材や参加賞等）も助成する。
- 募集期間 令和7年5月1日～令和7年6月20日（当日消印有効）

■ 読書活動推進助成

- 助成対象 読書活動を推進し、心豊かで夢や希望に向かって主体的に学ぼうとする人を育てる学校。
なお、本年度は、次の学校を助成の対象とする。
○島根県内の浜田・益田・隠岐の各教育事務所管内の小学校
- 助成内容 学校図書を充実し、読書活動推進を目的とする児童生徒のための図書購入費（1校当たり4万円分の図書カード）
- 募集期間 令和7年5月1日～令和7年6月20日（当日消印有効）

福祉事業

■ 30歳誕生祝（新規）

日教弘では、令和7年度から全国統一の福祉事業として30歳の誕生日を迎えた福祉事業の対象者に対して、5,000円相当の「30歳誕生祝」を贈呈することになりました。島根支部では令和7年4月以降、30歳の誕生日を迎えた正会員に5,000円分の図書カードをお贈りします。

今年度も教育文化事業で 島根の子どもたちと教職員の皆様を応援しました

【しまね数リンピック】

今年度は令和6年10月27日に県内10会場で開催され、小学生個人の部に90名、ペアの部に76名（38組）、中学生個人の部に64名、ペアの部に140名（70組）、合計370名が参加し、難問に取り組みました。参加者から「工夫して解く問題や、見方を変えると簡単に解ける問題がたくさんあり解いて楽しかったし、わかったときとても嬉しかったです。」「難しい問題が解けた時の爽快感と、友達と協力する楽しさが味わえてよかったです。」「初めて参加したけど、やりがいを感じることができ、数学の探求が楽しいと感じました！」等多くの感想が寄せられました。

この事業に約18万円を助成し、メダルや缶バッジ等の副賞や参加賞の購入に充ててもらいました。

【創造アイデアロボットコンテスト大会】

創造アイデアロボットコンテストは、中学校技術・家庭科で学習した知識や技能を生かしてロボットの設計・制作を行った成果の発表の場となっています。今年度は令和6年11月10日に中学校44チーム、総勢79名が参加して行われました。

この事業に5万円を助成し、大会参加賞や副賞の購入に充ててもらいました。



【へき地学校教育支援】

今年度は、15校の学校から応募があり、国指定2級地以上の7校に8万円ずつ、1級地・へき準・特地の8校に5万円ずつ、合計96万円を助成し、教育活動の資金に充ててもらいました。令和4年度から実施したこの事業は、3年間で多くのへき地校に支援を行うことができました。本年度をもって終了いたします。

<助成した学校>

(安来市) 山佐小学校 (雲南市) 吉田中学校 (浜田市) 今福小学校、波佐小学校

(川本町) 川本小学校 (美郷町) 大和小学校、大和中学校

(邑南町) 矢上小学校、瑞穂中学校 (益田市) 匹見小学校、桂平小学校

(吉賀町) 柿木小学校 (知夫村) 知夫中学校 (隠岐の島町) 五箇小学校、有木小学校

【児童生徒の読書活動の推進（図書カードの助成）】

「夢や希望に向かって主体的に学ぼうとする人を育てる」という鳥根県の教育目標達成に寄与するため、県内の学校に図書カードを助成し学校図書館教育の充実を図ることがこの事業の目的です。今年度は、県内の各学校・園に募集を行い、応募のあった学校・園296校に4万円分ずつ、合計1,184万円分の図書カードを助成し図書購入に充ててもらいました。

募 集	助成した学校・園の数
小学校、義務教育学校前期課程	132
中学校、義務教育学校後期課程	58
高等学校	35
特別支援学校	17
幼稚園、認定こども園	54
合 計	296

※読書活動推進助成第1回（出雲、浜田、益田、隠岐教育事務所管内の小学校）で助成した学校については、「令和6年度鳥根教弘会報vol.2」に掲載しています。

<読書活動推進助成第2回・第3回助成学校>

小学校等

(松江市)	津田小	恵曇小	意東小	赤江小
八束学園(前期)	川津小	佐太小		広瀬小
母衣小	忌部小	鳥根小	(安来市)	山佐小
城北小	生馬小	美保関小	社日小	布部小
内中原小	持田小	八雲小	南小	母里小
中央小	古江小	来待小	能義小	井尻小
雑賀小	秋鹿小	出雲郷小	荒島小	

中学校等

(松江市)	(安来市)	(浜田市)	(川本町)	(津和野町)
八束学園(後期)	第三中	第二中	川本中	津和野中
第一中	広瀬中	第三中		
第二中	伯太中	浜田東中	(邑南町)	(吉賀町)
第三中		旭中	羽須美中	吉賀中
第四中	(出雲市)	三隅中	瑞穂中	六日市中
湖南中	南中		石見中	
湖東中	平田中	(大田市)		(西ノ島町)
本庄中	大社中	第一中	(益田市)	西ノ島中
湖北中	斐川西中	第二中	益田中	
鹿島中	大東中	北三瓶中	高津中	(隠岐の島町)
鳥根中	木次中	大田西中	益田東	都万中
美保関中	仁多中		東陽中	
八雲中	頓原中	(江津市)	横田中	(私立)
宍道中大野原分校		江津中	中西中	開星中
東出雲中		江東中	美都中	松徳学院中
		青陵中	匹見中	
		桜江中		

高等学校

安来高	出雲高	矢上高	吉賀高	(私立)
松江南高	出雲工業高	江津高	津和野高	開星高
松江東高	出雲商業高	江津工業高	隠岐高	松徳学院高
松江商業高	出雲農林高	浜田高	隠岐水産高	石見智翠館高
松江農林高	大社高	浜田商業高	宍道高(定時制通信制)	キリスト教愛真高
大東高	大田高	浜田水産高	浜田高(定時制通信制)	明誠高
三刀屋高掛合分校	邇摩高	益田高		
平田高	島根中央高	益田翔陽高		

特別支援学校

盲	出雲養護	石見養護	江津清和養護
松江ろう	出雲養護 大田分教室	浜田養護	松江緑が丘養護
浜田ろう	出雲養護 邇摩分教室	益田養護	
松江養護	出雲養護 みらい分教室	隠岐養護	
松江養護 安来分教室	出雲養護 雲南分教室	松江清心養護	

幼稚園等

(松江市)	秋鹿幼	認定こども園荒島	稗原幼	(雲南市)
母衣幼	佐太幼		神門幼	認定こども園大東こども園
城北幼	講武幼	(出雲市)	中央幼	認定こども園西こども園
城西幼	やくも幼保園	今市幼	平田幼	認定こども園海潮こども園
中央幼	たまゆ幼	大津幼	東幼	認定こども園木次こども園
津田幼	しんじ幼保園	塩冶幼	湖陵幼	認定こども園斐伊こども園
古志原幼	出雲郷幼保園	古志幼	大社幼	認定こども園三刀屋こども園
川津幼	揖屋幼保園	高松幼	荒木幼	
朝酌幼	意東幼保園	四絡幼	遙堪幼	(浜田市)
幼保園のぎ		高浜幼	荘原幼	浜田幼
大庭幼	(安来市)	川跡幼	西野幼	
持田幼	安来幼	鳶巢幼	中部幼	(大田市)
古江幼	島田こども園	朝山幼		大田幼



松江農林高等学校



今市幼稚園

学校応援キャンペーンにご応募いただきありがとうございました

昨年の夏に、日教弘は「学校応援キャンペーン」を管理職（校長、副校長、教頭、事務長）の皆さんを対象に実施しました。本県は、307人（211校）、全国では34,213人（20,874校）から応募がありました。このうち、次の5校に「学校賞」を贈呈しました。



松江市立義務教育学校玉湯学園へ
ワンタッチタープテントを贈呈



学校用
ワンタッチタープテント

高圧洗浄機



出雲商業高等学校へ高圧洗浄機を贈呈



明誠高等学校へ高圧洗浄機を贈呈



美郷町立大和中学校へ高圧洗浄機を贈呈



松江市立鹿島中学校へ
高圧洗浄機を贈呈

(公財)日本教育公務員弘済会島根支部 副支部長 永田千秋氏ご退任



永田副支部長は、令和7年3月をもって、(公財)日教弘島根支部副支部長の職を退かれることになりました。

平成19年から5年間は理事(現在の幹事)として、平成29年から8年間は副支部長、更に一人二役で益田地区の参事としての職務もしていただき通算13年間の長きに渡り、島根支部の充実・発展に尽くされました。

この間、益田地区の学校訪問・事業説明会や友の会総会への参加などを積極的に行い、教育公務員弘済会は教職員の教職員のための教職員による組織であることや島根支部の事業やその原資は教弘保険から生み出されることなどを直接教職員の皆様に伝え、会員数や保有口数の増加にご努力いただく等、会員の皆さんとはもちろん、学校との信頼関係の構築や連携強化に多大なご尽力をいただきました。

この度、副支部長はご退任になりますが、当会のよき理解者として引き続きご指導・ご協力をしていただくことを期待しています。

なお、後任には平成3年から16年間に渡り理事(現在の幹事)として務めていただいた元浜田市立第一中学校長の福田政隆さんにお世話になります。永田氏同様よろしくお願いします。



「友の会会員」(退職会員)の入会年齢が変更になっています

定年年齢の延長が定められたことから、島根支部も段階的に従来、満60歳から「友の会会員」(退職会員)と定めていた規定を、延長された定年後からに変更しています。

なお、友の会会員の年齢制限(満75歳まで)についてはこれまで通りです。

期 間	友の会入会年齢
令和5年4月1日から令和7年3月31日まで	満61歳
令和7年4月1日から令和9年3月31日まで	満62歳
令和9年4月1日から令和11年3月31日まで	満63歳
令和11年4月1日から令和13年3月31日まで	満64歳
令和13年4月1日以降	満65歳

※「友の会」入会は、左表の右欄の年齢に達した日以後の最初の4月1日です。

※定年前に早期退職者も含め、友の会入会年齢に達した日以後の最初の年度末までは現職会員扱いです。

※国立・私立学校等に勤務する者は、それぞれの学校等の「定年年齢」に読み替えて適用します。

<参考>定年退職が太字

定年の段階的引き上げについて

生年月日	年度	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	R 13	R 14	R 15
	定年	年度末	年度末	年度末	年度末	年度末	年度末	年度末	年度末	年度末	年度末
S38. 4. 2~S39. 4. 1	61	61	暫再	暫再	暫再	暫再					
S39. 4. 2~S40. 4. 1	62	60	61	62	暫再	暫再	暫再				
S40. 4. 2~S41. 4. 1	63		60	61	62	63	暫再	暫再			
S41. 4. 2~S42. 4. 1	64			60	61	62	63	64	暫再		
S42. 4. 2~S43. 4. 1	65				60	61	62	63	64	65	
S43. 4. 2~S44. 4. 1	65					60	61	62	63	64	65

* 暫再 = 暫定再任用

遊ぶ 考える 仲良くする子

浜田市立浜田幼稚園

令和5年4月、浜田市公立幼稚園（原井・石見・長浜・美川）が統合し、旧長浜幼稚園の園舎を利用して、浜田幼稚園として開園しました。さらに、浜田幼稚園内には、浜田市幼児通級教室「にこにこ」を開設、また、県内の自治体で初めての浜田市幼児教育センターを開所しました。

令和5年度には、園児27名が在籍し、3歳児、4歳児、5歳児各1学級で3学級での保育がスタートしました。令和6年度には、園児数22名、4歳児・5歳児が異年齢混合クラスとなり、2学級となりました。

少人数の幼稚園ですが、その良さを生かした教育を展開しています。

海が近いので、自然体験活動の一環として、乗船体験（県立浜田水産高等学校の実習船）、海遊び、熱田ビーチで遊ぶ会（浜田ライフセービングクラブによるビーチフラッグ・ビッグサップ体験）、海岸清掃（地域の方と一緒に）などを行っています。どの活動も地域の皆様のご支援・ご協力のもと、子どもたちは身近な自然に触れると共に、自分たちの住む町を知り愛情を育んでいるところです。

このほか、四季を感じることでできる行事に合わせた柏餅づくり、餅つき、鏡開き、豆まきなどや日本の伝統・文化に触れることでできる茶道教室。また、園庭にある泥んこコーナーでは、泥の感触を味わいながら大はしゃぎの子どもたち。泥だんごを作ったり、遊具やおもちゃを使ってごっこ遊びをしたり、自分たちで考えた様々な遊びを楽しみながら展開しています。これらを通して、子どもたちは、遊びのルールを知ったり、友達との関わり方を学んだりしています。

日々の保育を実践する中で、私たち職員一同は、子ども一人一人の思いを大切にしながら見守り、状況や背景を捉え、一緒に成長していきたいと思えます。そして、『ふるさとに親しみ 自ら考え 共に育つ子どもの育成』という教育目標に一步でも近づきたいと思っています。



上手に柏餅を作ったよ



ワクワク・ドキドキの
ビッグサップ体験♪



茶道教室で
伝統文化を学びました



浜田水産高校の船で乗船体験をしたよ



泥んこ遊びも大好き！

LCさんの声

感謝の気持ち



ジブラルタ生命保険(株)松江支社
 松江第一営業所 持田 祐香里

私はジブラルタ生命に入社して9年目になります。

私の入社のきっかけは、母が先輩として働いていた事です。子供の頃から母の働く姿を見てきましたが、私自身も働く母となり、2022年〜2023年の間には1年半の産休と育休を取得させていただきました。その節は、先生方に大変ご迷惑をお掛けしました。それにもかかわらず、復帰して学校訪問や挨拶のお電話をすると「また宜しくね〜」「久しぶり。元気だった？」と優しく声を掛けていただきました。復帰したばかりで、不安だった私には先生方の優しいお声掛けが本当に心強く有難かったです。また、ある退職された先生を訪問した際には、先生の貴重なお時間を頂戴しているにも関わらず、私の育児の話に耳を傾け、親身に相談に乗ってくださいました。エピソードを挙げればきりがありませんが、先生方の温かいお心遣いに触れる場面が沢山ありました。感謝してもきれない気持ちでいっぱいです。

学校訪問をしていると、先生方は日々の業務と子供たちへのサポートでお忙しく、とりわけ、ご自身の事に目を向けにくい環境にいらっしゃる方が少なくないと感じます。私ができる先生方への恩返しは、先生ご自身と大切なご家族に寄り添い『心の平和と経済的保障』をお届けできるようにサポートをすることだと考えています。お忙しい中でも貴重なお時間を頂いた先生方にとって、何か一つでもお役に立てるよう日々精進して参ります。

そして、未来の宝である子供たちと先生方のために、日本教育公務員弘済会の事業を広く知っていただく事も、私のできる恩返しの一つだと思います。これからも『たすけあいの輪』を広めていけるよう、感謝の気持ちを忘れず、先生方に寄り添ってまいります。

今後とも末永く宜しくお願い申し上げます。

定年前にご退職予定の教弘保険加入会員の皆様へ

～教弘保険の満期は65歳です～

ご退職後も、万が一に備えた保険は必要です。ご退職後は、教弘保険に新たに加入することはできませんので、ご継続をお願いします。

教弘保険継続の3つのメリット

現職中と同じ保険料で大きな保障

教弘保険の満期は65歳です。65歳まで現職中と同じ保険料で大きな保障を得ることができます。

正会員の特典(福祉事業)をご利用できます。

満61歳を迎えられた年の年度末までは現職会員の資格が継続しますので、現職会員の特典(福祉事業)をご利用できます。その後は、友の会会員となり友の会の特典があります。

新教弘保険K型に加入でき、80歳まで継続できます。

65歳まで教弘保険を継続すると新教弘保険K型に加入できます。この場合、健康状態のいかに関わらず、既加入の保険金の範囲内で加入でき、80歳まで継続できます。ただし、友の会会員資格は75歳までです。

～保険料払込み方法の変更について～

退職されますと4月から源泉徴収ができなくなりますので、指定の金融機関口座からのお支払方法に変わります。また、65歳までの一括払いにされますと前納割引があります。

教弘保険の手続きは、ジブラルタ生命のLCにお問い合わせください。

共済事業 (提携保険事業) 提携保険会社 ジブラルタ生命保険株式会社 お問い合わせ先

- ジブラルタ生命保険株教職員専用ダイヤル (通話料無料) 0120-37-9419
- 松江支社 〒690-0007 松江市御手船場町 553-6 0852-59-5571
- 松江第一営業所 〒690-0007 松江市御手船場町 553-6 0852-59-5571
- 松江第二営業所 〒690-0007 松江市御手船場町 553-6 0852-59-5571

- 出雲営業所 〒693-0011 出雲市大津町 1127-27 0853-21-2015
- 浜田営業所 〒697-0026 浜田市田町 113-2 0855-22-1703
- 益田営業所 〒698-0026 益田市あけぼの本町 9-4 0856-31-1510

「教弘保険」って、どんな保険？

教弘保険（集団契約特約付勤労保険）は、教職員の皆様ご自身の安心、教職員の皆様相互の支えあい、そして公益事業による助け合いを目的として開発された教職員だけが加入できる生命保険です。

1. 低廉で一律な保険料

- ・死亡と高度障害を保障します。
- ・集団契約特約が付加されていますので、低廉な保険料です。
- ・性別・年齢に関係なく保険料は一律です。
- ・退職後も現職の方と全く同じ保険料で65歳まで継続することができます。

2. 公益性

「契約者配当金」を原資として「最終受益者は子どもたち」の理念の下、教育振興や福祉に役立っています。

3. 教弘保険加入会員としての特典

教弘保険加入の日教弘会員として、祝金等（結婚・出産・30歳）、見舞金（傷病・災害）、指定宿泊施設利用補助などの特典があります。

4. 加入資格は、日教弘会員のうち60歳以下の現職の方に限ります

34歳以下の教職員の皆さんには、ユース教弘保険。働き盛りの35歳以上の教職員の皆さんには、新教弘保険A型があります。ただし、60歳までしか加入することはできません。お早目に加入の検討をお願いします。

※教弘保険のご契約の際は、共済事業提携保険会社のジブラルタ生命保険会社のLC（ライフプランコンサルタント）を通じて、「契約概要」「注意喚起情報」「ご契約のしおり約款」をご確認ください。

損害保険事業

公益財団法人日本教育公務員弘済会 団体保険

教職員のみなさま専用の保険 2024年8月～2025年7月加入のご案内

教弘まなびや スーパープラン

教育業務中だけでなく、日常生活の
トラブルからも教職員の皆さまをサポートしてお守りします。

約41%割引
※天災危険補償部分の保険料は、団体割引のみ適用となります。

約12,000人の方が
ご加入されています

自動更新 2024年8月1日始期
2024年8月1日午後4時～
2025年8月1日午後4時(1年間)

中途加入の補償期間
毎月20日締切で、提出締切日の
翌月1日午前0時～2025年8月1日午後4時

募集期間
2024年5月31日金～2025年6月20日金

加入者資格 公益財団法人日本教育公務員弘済会の会員で、以下に該当する方

1. 公立学校の教職員
2. 国立学校および私立学校の教職員
3. 教育委員会の職員
4. 教職員団体の役員及び職員
5. 日教弘および日教弘の本部および各県の職員
6. 1.～5.の退職者

被保険者になれる方の範囲 公益財団法人日本教育公務員弘済会の会員で、以下に該当する方

1. 公立学校の教職員
2. 国立学校および私立学校の教職員

【注意】教育委員会・教育事務所の職員の方は、被保険者になりません。

※「教職員」とは、学校教育法に規定する学校の校長および教員ならびに部活動を指導する教育関係の職員等

**ホームページから資料請求
いただいた方へもれなく
粗品をプレゼント
しています→**

公益財団法人 日本教育公務員弘済会
www.nikyoko.or.jp



教職員賠償責任保険

教職員業務の遂行に起因した
損害賠償請求に！
教職員個人が訴えられることも…

- 1 教職員個人の争訟費用(弁護士費用等)および損害賠償金を補償！
●授業中に生徒がケガ、先生個人に損害賠償請求。
●賠償金 ●慰労金
- 2 初期対応費用も補償！
(身体障害を受けた被害者への見舞金等)
- 3 加入日より前に行った行為に起因する請求も補償！
●研修やインフラソフトP.8をご参照ください
- 4 教職員でなくなった後になされた請求についても5年間補償！
●生徒を注意したら人格権の侵害と訴訟を起こされる。
●争訟費用 ●損害賠償金

団体総合生活保険(まなびや)

- 1 ご本人のケガを入院・通院1日目から補償します。学校行事中等のケガは倍額補償！
●天災(地震)もしくは車またはこれらによる乗車によるケガについても補償します。(特定学校行事中・宿泊旅行中・通勤途上)
- 2 生徒の見舞い費用も補償！
(生徒がケガにより死に至るは15日以上継続して入院した場合の入院見舞金・弔慰金等)
●部活動指導中にケガをする。
●治療費
- 3 携行品損害・救済者費用等も補償！
●自転車や他人にケガをさせる。
●損害賠償金
- 4 ご本人およびご家族の日常生活での賠償事故を補償！
(国内で他人から預かった物を盗まれた場合の盗難事故も補償)
- 5 O157等の特定感染症も補償！
●学校交際サービス付帯(国内のみ) ●自転車乗車にも対応！

このご案内は、「教職員賠償責任保険」「団体総合生活保険(まなびや)」の概要について説明したものです。保険の内容は、パンフレットをご覧ください。詳細は団体が保有する保険約款によりませんが、ご不明な点がありましたら、代理店または引受保険会社 東京海上日動火災保険㈱におたずねください。ご加入に際しては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。 2024年2月作成 募集文書番号23T-002627

奨学事業募集のお知らせ

(詳細は募集要項・HPをご覧ください)

大学等貸与奨学生

対象者

原則として親権者（志望者が成人の場合は父母又は本人）が島根県内に在住する者であって、大学院、大学、短大、高専（4年生以上）、専修学校専門課程等に在学し、学資金の支払いが困難と認められる者で、令和7年4月1日時点で30歳未満である者。

貸与額

在学1年について25万円、最高限度額一人100万円、決定時に全額一括貸与。（無利息）

募集期間

令和7年4月10日～令和7年5月10日（当日消印有効）

高等学校等給付奨学生

対象者

島根県内の高等学校、特別支援学校の高等部、高等専門学校（3年生以下）に在学し、修学意欲がありながら学資金の支払いが困難と認められる者で、在学する高等学校等校長の推薦（原則1校1名、ただし分校・分教室・各課程はそれぞれ1校とみなす。在籍生徒数が多い全日制の高等学校等については1校2名まで可とする。）がある生徒。ただし、これまでにこの奨学金の給付を受けた者を除く。

給付額

一人当たり15万円（原則として返還の必要なし）

募集人数

48人

募集期間

令和7年5月1日～令和7年6月13日（当日消印有効）

大学給付奨学生（予約型）

対象者

島根県内の高等学校、特別支援学校高等部の最終学年又は高等専門学校第3学年に在学し、大学進学を目指す者のうち、修学意欲がありながら学資金の支払いが特に困難な者で、在学する高等学校等校長の推薦（1校1名）がある生徒。同一生計の所得金額（400万円未満）、学習成績の状況（評定平均値4.0以上）の要件を満たす必要あり。

給付額

一人当たり月額3万円
（令和8年度から4年間支給。原則として返還の必要なし）

募集人数

4人

募集期間

令和7年5月1日～令和7年6月13日（必着）

選考

第一次選考（書類）、第二次選考（面接）により支部選考委員会で選考し、支部長の推薦により理事長が決定する。

島根教弘会報 令和6年度 第3号

発行日
発行兼編集

令和7年3月10日

〒690-0887 島根県松江市殿町33番地

公益財団法人 日本教育公務員弘済会島根支部

E-mail: simane@nikkyoko.or.jp

株式会社 島根教弘

E-mail: shimane@nikkyoko.co.jp

責任者

河原一朗

TEL 0852-24-1059

FAX 0852-31-6089

HP: <https://nikkyoko-shimane.jp>

TEL 0852-24-7750

印刷・製本 明和印刷有限会社



日教弘島根支部の
HP用QRコード